

活動報告書
よこはまワンダーキッズ ワンダーコース ひまわりクラブ
第5回 「～親子で挑戦～ アウトドアクッキング」

実施日時: 2018年10月21日(日)

会場: 川崎市黒川青少年野外活動センター(神奈川県川崎市)

<活動のねらい>

- 班のみんなでひとつのものを作る
→役割分担や譲り合いなどを通し、仲間を思いやる心を引き出す
- 保護者の方にワンダーキッズへの安心感や信頼感を感じてもらう
→子どもたちの新たな一面の発見、キャンプカウンセラーへの理解

<プログラムの構成要素>

- 自然に対する好奇心 ★
- 創意工夫を楽しむ心 ★★
- 仲間とやってみようとする心 ★★★



今回は保護者の方と一緒に活動だったためか、いつも以上に子どもたちは元気一杯だったように感じました。キャンプカウンセラーが考えた「どんぐりリレー」でも、友だちの保護者の方とも緊張することなく一緒に楽しむなど、保護者の方の笑顔も見られた温かい時間でした。



今回は五平餅と豚汁作りに挑戦！米の量を計るときは、友だちの力や保護者の方の力を借りながら一生懸命な様子。「はじめて切る！」と包丁を握り、具材を切る眼差しも真剣そのものでした。「家ではなかなか使わせられない。」と話す保護者も多く、貴重な時間のような感じでした。



こんにゃくや芋を型取り、「残りの場所、何がいいかな?」「ハートなら入るんじゃない?」と友だちと相談しながら取り組む姿も見られました。豚汁の具材を切り終わると、「次はなにすればいい?」と意欲的な子どもたちでした。



五平餅作りでは、「押しつぶすといいよ!」「持ってようか?」など、友だちを思う姿がたくさん見られました。割りばしにご飯を付けるのは一苦労。「手にご飯だらけでベトベト!」と言いながらも満面の笑みでした。



焼くときはお父さんが大活躍!いつも以上に頼りになるお父さんの姿に子どもたちも嬉しそうでした。完成し、頬張る子どもたちは満足気。きつとお泊りのクッキングもみんなの力でおいしいご飯になると今からワクワクします。回を重ね、友だちに積極的に声をかけ、行動でも表せるようになりました。子どもたちの言葉や行動は優しさが含まれているものばかりです。ワンダーキッズでの一面を保護者のみなさまにも見ていただけていたら幸いです。